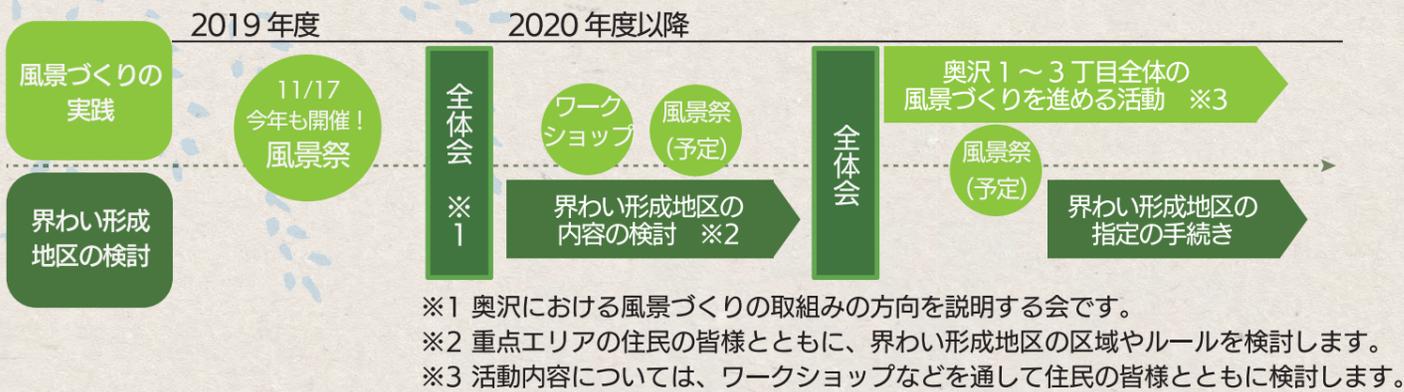


これまでの取り組みやアンケートの結果を踏まえて、「奥沢1～3丁目全体」では「風景づくりの実践」を進めます。「重点的に風景づくりを進めるエリア」（奥沢2丁目エリア、奥沢1・3丁目エリア）では、「界わい形成地区の検討」を進めます。



「界わい形成地区」ってなあに？

「界わい形成地区」は、良好な風景の形成を図るための景観法及び世田谷区風景づくり条例に基づく制度です。地域の特徴を活かした風景づくりを進めるため、風景に関するルールを設けることができます。

「界わい形成地区」の区域（イメージ）

区では、区内全域を一般地域と風景づくり重点区域に分けて風景づくりを進めています。界わい形成地区は、風景づくりを重点的に進める風景づくり重点区域のひとつです。



「界わい形成地区」で育む奥沢らしい風景

現在、世田谷らしい風景づくりを進めるために、区内で一定規模以上の建設行為等を行う際には区へ届け出いただき、事業者、専門家と区が協議・調整する制度を実施しています。

「界わい形成地区」に指定されると、奥沢独自のルールや届出が必要な規模を設定することができるため、より奥沢らしい風景づくりを進めることができます。

現在		指定後 (イメージ)	
[範囲]	[届出対象の規模]	[範囲]	[届出対象の規模]
奥沢1～3丁目 (一般地域)	一定規模以上の建設行為等	重点エリア (界わい形成地区)	検討中
		奥沢1～3丁目のその他のエリア (一般地域)	一定規模以上の建設行為等



問い合わせ先
 世田谷区 都市整備政策部 都市デザイン課
 電話 03-5432-2039 ファクシミリ 03-5432-3084

奥沢 風景づくり 検索
 奥沢の風景づくりの取り組みは、区のホームページで公開しています。

第4号から、ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づき、より多くの人に見やすく、読み間違えにくいデザインの文字を採用しています。

奥沢の風景を考える

奥沢界わいニュース

【第4号】

発行日：令和元年9月
 発行：世田谷区都市整備政策部 都市デザイン課

おくさ 風景ワークショップ第3弾！ 「奥沢のみどりが活きる色探し」を開催しました！

奥沢1～3丁目では、これまでワークショップなどにより、地域にお住まいの方々と奥沢の風景について考えてきました。今年度も引き続き風景づくりの検討を進めてまいります。

6/22 (土) には、奥沢東地区会館にて、ワークショップ第3弾を開催しました。当日は23名の方々にご参加いただき、「奥沢のみどりが活きる色探し」をテーマに、まちあるき、ワークショップとレクチャーを行いました。



第3弾 まちあるきワークショップ



まちあるきでは、奥沢2丁目の旧海軍村住宅周辺を歩き、実際に建物や塀に使われている色や、みどりのしつらえを確認しました。

ワークショップでは、「奥沢で家を建てるとしたら、外壁と屋根の色をどんな色にするか」をテーマに、「みどりが活きる色使いとすること」、「周辺と調和した色使いとすること」を意識して、グループに分かれて検討しました。その後のレクチャーの詳細は次頁をご覧ください。



- ### ワークショップのプログラム
1. まちあるき (奥沢2丁目)
 2. ワークショップ
 3. レクチャー
 講師：田邊 学氏 (武蔵野美術大学 講師)
 4. 全体発表・講評

奥沢らしい みどりが活きる色って？

奥沢の住宅地の風景は、庭先に連なるみどりが特徴的です。みどりがより生き生きと見えるような建物の色使用について、色彩の専門家である田邊氏にお話をいただきました。

みどりを美しく鮮やかに見せるために

人間は、視界の中にある最も鮮やかな色から風景の第一印象を感じ取っています。

植物の緑色の彩度は、紅葉の時期などを除くと、概ね彩度6※までとなっています。建物や塀の色彩は、これより鮮やかさを抑えることで、みどりをより美しく、鮮やかに見せることができます。

(右図参照)

※色彩の三属性

色には3つの性質(色相・明度・彩度)があります。

色相：赤・青といった色合い。

明度：明るさの度合いを表す尺度。

彩度：鮮やかさの度合いを表す尺度。

また、砂や岩石の色は、植物の緑色よりも彩度が低く、穏やかで暖かみのある暖色系の色です。季節による色の変化がないため、自然風景の中では「地」の色となっています。砂や岩石の色は、街の中の建物や塀などにもよく使用されており、自然風景の中だけでなく、街中でも風景の「地」の色となって、みどりを引き立てます。

みどり豊かな第一印象をつくるために

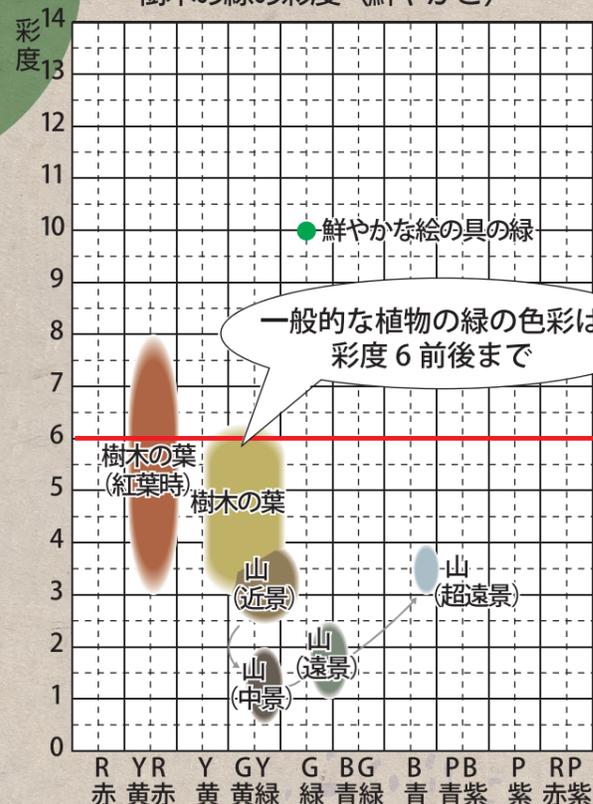
例え少量であっても、視界の最も手前にある色は強い印象を与え、建物の第一印象をつくります。

この効果を利用して、建物や塀よりも前に植物を配置することで、みどり豊かな建物の印象をつくることができます。ささやかなみどりであっても、建物や塀の前に配置するみどりの効果は絶大です。

さらに奥沢の風景の魅力をまち全体に波及させるためには、目に見えるみどりを視覚的に繋いでいくことが有効です。

本稿は、ワークショップで行われた田邊氏によるレクチャー「奥沢のみどりを活かす街並みの色彩」をもとにまとめたものです。

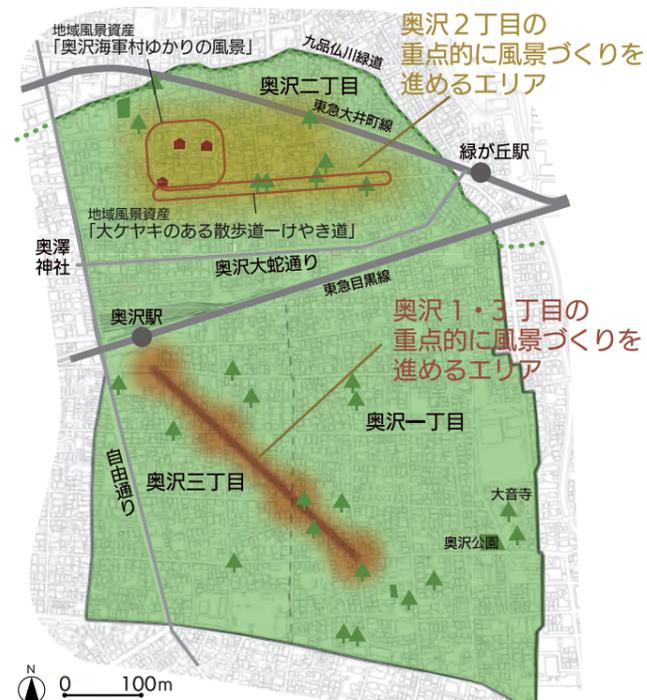
樹木の緑の彩度(鮮やかさ)



建物や塀の前に植栽することで、みどり豊かな印象に。

奥沢の風景づくりについて、アンケートを実施しました。

奥沢の風景づくり たたき台(概要)



- 風景づくりの取組みを進めるエリア(奥沢1~3丁目)
- 重点的に風景づくりを進めるエリア
- 歴史のある建物等(旧海軍村住宅)
- シンボリックな樹木
- 公園
- 緑道

奥沢1~3丁目全体の目標

~みどりと人がつなぐ
おくさわの風景づくり~

2つの重点エリア

特徴的で魅力ある風景が見られる以下の2つのエリアでは、重点的に風景づくりの取組みの検討を進めていきます。

奥沢2丁目の重点的に風景づくりを進めるエリア

風景づくりで重視したいこと

- 大きなみどり
- 小さなみどり
- 歴史
- 建物

奥沢1・3丁目の重点的に風景づくりを進めるエリア

風景づくりで重視したいこと

- 大きなみどり
- 小さなみどり
- 交差点
- 地形

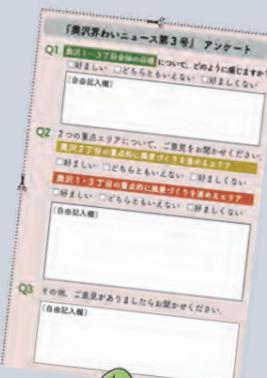
アンケートの結果

配布数：7,311件(奥沢1~3丁目の全戸) 回答数：51件

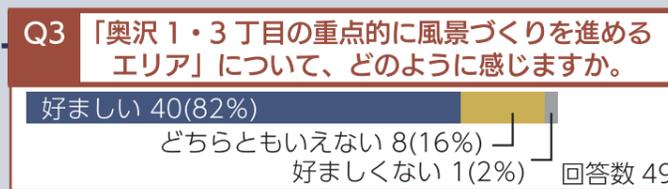
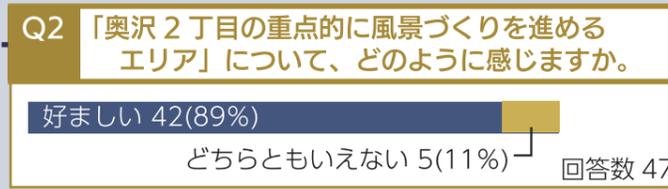
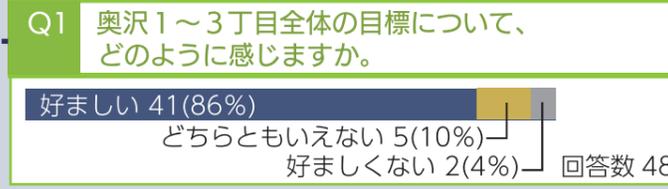
「奥沢界わいニュース 第3号」(3月発行)で、「奥沢の風景づくりたたき台」(左記参照)について、アンケートを実施しました。

結果といただいた主なご意見をご紹介します。

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。ご意見は、今後の風景づくりに活かしてまいります。



選択式のアンケートでは、1~3丁目全体、重点的に風景づくりを進めるエリアともに、ご回答をいただいた方のうち、8割以上の方から「奥沢の風景づくり」(たたき台)について、「好ましい」とのご意見をいただきました。



主なご意見

- ・みどりが失われていて残念に思っていた。この目標は奥沢をいい方向にもってってくれる。
- ・海軍村住宅の風景は、好きな街並み。残していけたら嬉しい。
- ・斜めの道は、多くの方が通勤・通学に使用。1,3丁目のシンボル。
- ・「界わい形成地区」は一ヶ所に集中した方がよいのではないかと。
- ・住民の意見次第では、重点エリアの拡大、他の場所の指定も考慮してほしい。